

「ひむか人財育成セミナー・教師みらいコース」最終回を実施

教育学部は、令和3年11月13日（土）に今年度最終回となる「ひむか人財育成セミナー（教師みらいコース）」を実施した。宮崎南高等学校をメイン会場として、県内3校（延岡高校、佐土原高校、都城商業高校）からのオンライン参加や自宅等からのチャット参加も含め、約60人が参加した。

まず、宮崎大学大学院教育学研究科の椋木香子教授が「学校で道徳を教える必要はあるか」をテーマに講演を行った。道徳が「特別の教科 道徳」となった背景を学んだ上で、テーマである「学校で道徳を教える必要はあるか」について賛成派と反対派に分かれて議論を行った。当日参加した高校生からは「全員での討論を通して、発言することの大切さ、そして他の人がどう考えているかを知ることができてよかったです。最初は賛成意見でも、反対意見の人の声を聞くとそっちの意見に変わったことに自分でもびっくりしました」とか「YouTubeでのチャット参加でしたが、道徳が教科になったことを初めて知るとともに、道徳教育のあり方について実際に椋木先生から聞いたことは、とても貴重な経験になりました。教師を目指す上で、道徳教育へもっと自分自身関心を持ち、考えを深めていきたいです」などの感想が聞かれた。

続いて、宮崎大学教育学部4年生の峯田雅斗さんから「教師を志す高校生へ～模擬授業に挑戦～」というテーマで、授業の構成や模擬授業が教員採用試験の試験内容の1つであることの説明が行われた後、課題をもとに実際に模擬授業をどう作るかの演習が行われた。また、同4年生3名（竹田扇梨さん、上杉結梨奈さん、岩切香楠子さん）により「宮崎大学の魅力」や、「なぜ私は宮崎県の小学校教師を目指すのか」についての講話があり、現役の大学生の生の声に対し高校生からは多くの質問が寄せられた。

当日参加した高校生からは「他県と比べた宮崎の魅力や、なぜ教員という道を志したのかがしっかり理解できた。模擬授業は大変印象に残るものであり、自分も一緒に授業をしているイメージをしながら聞いた。宮崎大学で学びたいとさらに強く思った」とか「在学生から宮崎大学教育学部の魅力や特徴について知ることができた。教員採用試験の模擬授業を実際に受けてみて、授業構成や行い方について知ることができ、授業の完成度にとっても驚いた。授業を受ける側もとても楽しかった。自分が授業構成を考える時に参考にしていきたい。宮崎大学教育学部の魅力をさらに知ることができたため、宮崎大学教育学部に入学したいと強く思った」などの感想が聞かれた。

今回、講話を担当した教育学部4年生4名とも、高校生のときに「教師みらいコース」を受講しており、宮崎大学へ進学し、今年度の教員採用試験に合格している。

本セミナー（2コース）は、県内の高校生を対象に「ふるさと宮崎の担い手」に焦点を当て、「宮崎で働き、宮崎で暮らす魅力と課題とは何か」をテーマに、「教師みらいコース」と「ふるさと宮崎創成コース」に分かれて年4回開催された。来年度以降も継続して開催していきたい。



講演を行う椋木教授



模擬授業を作る演習の様子



宮崎大学の魅力を伝える教育学部4年生（右は高校生からの質問に答える様子）